

EVハーネス救出要領 (R2名)

H25年改正

機長		O P		R1	R2	機内補助者
ボイス	活動要領 (注意事項)	手信号【合図】	ボイス・指示内容			
<p>ヘリの誘導及び地上への降下 (ホイスト降下) については、別紙要領に準じ、実施。</p> <p>ヘリ、ポイント進入 → 機体誘導 → 降下準備 → R 降下地上進入 → 現場離脱or上空待機or後方待機</p>						
上 空 待 機 救 出 準 備						
「了解、ホイスト電源ON」	後方待機の場合機首右側約二時方向にRの地上作業が確認できるよう待機する。		「ホイスト電源ON」 「ランプ点灯確認」 「250/600 確認」	下記に明記		機体左側の安全管理。 機内収容に備え自己確保カラビナ等を整理する。
	コパイ機長は左側の安全監視					
※状況の変化や作業状態等を逐次ボイスし、OPと機長の意志疎通を十分にはかる。						
R 地 上 作 業 要 領						
<p>地上到着後、携行しているEVハーネスをR1・2協力して要救助者に縛着、PU時の注意喚起をした後、自己スリングのカラビナとEVスリングのカラビナを合わせて作業完了、その後要救助者保護に努め、要救助者を座らせる等の安定した状態にし、ヘリに対し進入の合図を送り、引き続きホイスト降下の合図を送る。</p>						
「進入了解」		救出作業開始		ヘリに進入合図を送り、ホイストフック降下の合図を送る。	要救助者の保護に努める。 要救助者の状態を注視する。	機体右側へ移動し、OPの介添えをする。
「了解」		救出作業開始		「進入合図あり、ヘリ進入願います」目標にヘリを誘導と同時にホイストを徐々に救出ポイントへ降下させる。 「ホイストフック降下」 「目標まで10m・・・3・2・1・・・ストップ・・・00m右 (左・前後)、高度確認」		
「高度〇〇m」		救出作業開始				<ul style="list-style-type: none"> ・ダウンウォッシュに注意。 ・常にヘリを注視。 ・フックを注視し接地を待つ。